

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	消防総務課担当課長 芥川 忠	
消防-02 消防施設管理事業		☒ 自治事務	主管課	消防総務課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全		施策の方針
				消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	消防職員等
意図	庁舎の老朽化による事故を防止し、公務が円滑に執行できる職場環境を確保するとともに、災害時の拠点として活用できるよう機能を維持するため。
効果	災害時の拠点となる消防庁舎の機能を維持することができる。

2 平成26年度に実施した事業の概要

各署所の修繕、保守点検等消防庁舎の維持管理を行う。

3 事業費等基礎データ

人口等のデータ	データ区分	27年度当初予算	データ区分	26年度決算	備考
	人 口	177,243人	人 口	177,464人	
	世 帯 数	80,676世帯	世 帯 数	80,368世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	28,737	決算値(千円)	14,908	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	28,737	一般財源	14,908	
	人員配置数	0.6	人員配置数	0.5	
事業経費運営	人件費(千円)	4,954	人件費(千円)	3,943	
	総事業費(千円)	33,691	総事業費(千円)	18,851	
	市民1人当りの経費(円)	190	市民1人当りの経費(円)	106	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	老朽化が著しい消防庁舎の維持管理について、適切な修繕補修を行い諸課題を整理する。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	厳しい財政状況の中、限られた財源を適正に執行するため、各施設の破損状況等を把握し、優先順位をつけ修繕を実施した。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題 新たな課題	修繕未実施の施設に対する維持管理方法	

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	☐ a:事業内容を見直す ☒ b:事業内容は現状通りとする ☐ c:事業を休止又は廃止する ☐ d:他事業と統合し、本事業は廃止する	⇒	見直しの種類	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	見直しの内容	
	⇒					
予算規模の方向性	☐ A:予算規模を拡大する ☒ B:予算規模は現状維持とする ☐ C:予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	本来であれば、予算規模を拡大し防災拠点をいち早く修繕したいところではあるが、限られた予算内で、優先順位を付け将来を見据えた事業を展開していく必要がある。			
総評	防災拠点の要となる施設を適正維持管理していく。					

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		消防施設の管理					単位	%	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31			
消防庁舎の修繕を行い、地域の防災拠点としての機能を維持していく。		目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0			
		実績値	50.0									
		達成率	50.0%									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31			
		目標値										
		実績値										
		達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31			
		目標値										
		実績値										
		達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31			
		目標値										
		実績値										
		達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31			
		目標値										
		実績値										
		達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31			
		目標値										
		実績値										
		達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31			
		目標値										
		実績値										
		達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方		今後の、公共施設再編等を念頭に置き、効率的な庁舎修繕を実施し、防災拠点としての機能を維持していく必要がある。										

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---